

経営比較分析表（令和2年度決算）

石川県金沢市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	21	対象	ド透訓	救 臨 感 災 輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
451,018	22,233	非該当	非該当	7 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

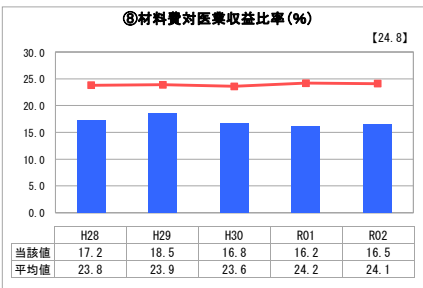
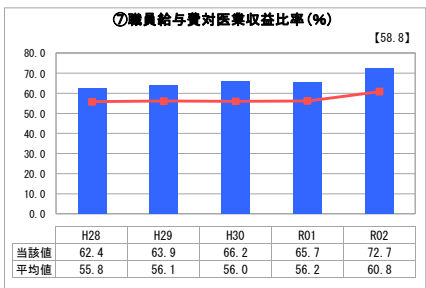
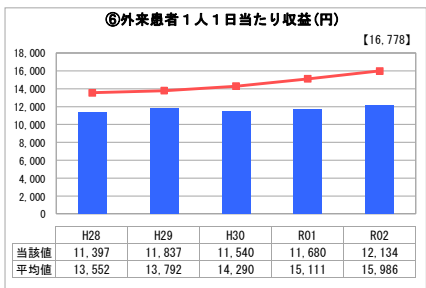
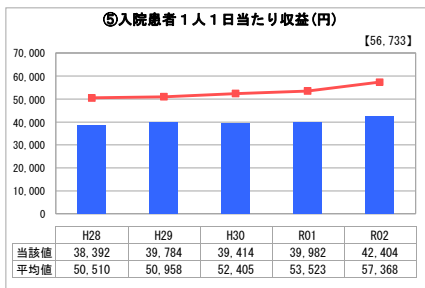
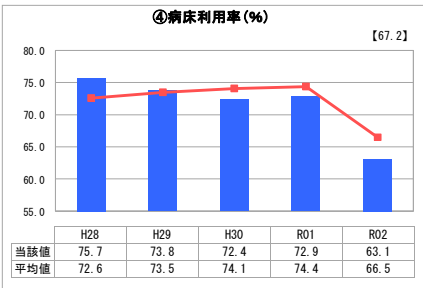
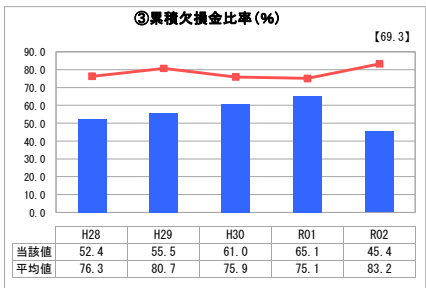
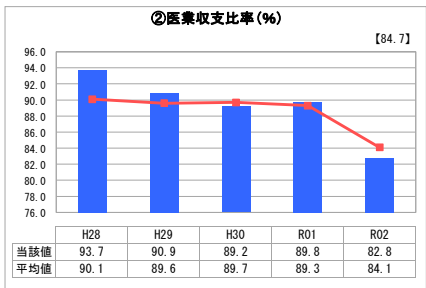
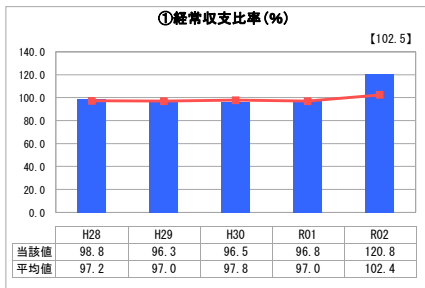
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
275	-	25
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	306
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
275	-	275

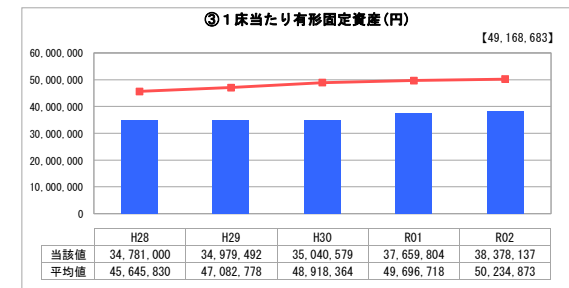
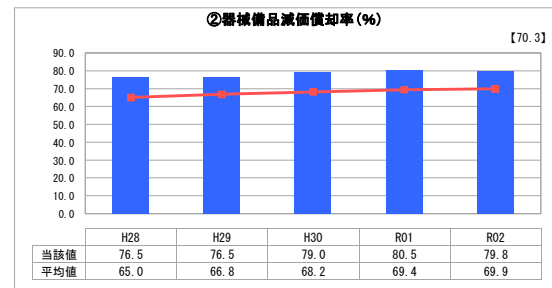
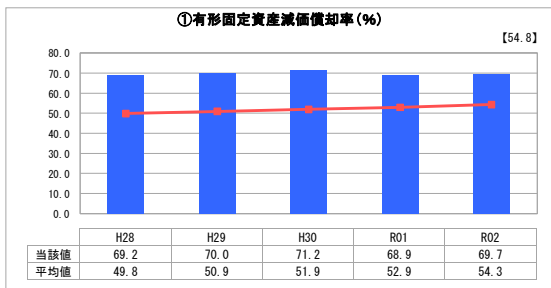
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

官報・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

市立病院として、一般急性期医療のほか、救急医療、結核・感染症医療、災害医療等の特殊・不採算医療を担うとともに、地域の医療機関や保健・介護・福祉施設との連携、医師・医療スタッフ・医療系学生の研修並びに自治体の保健医療政策を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率が増加、③累積欠損金比率が減少したが、②医業収支比率が大幅に減少しており、病院経営の安定に向けた具体的な行動指針である「新金沢市立病院経営計画」を着実に実行し、経営を健全化することが求められている。また、類似病院との比較では、⑤入院患者1人1日当たり収益と⑥外来患者1人1日当たり収益が低い一方で、⑦職員給与費対医業収益比率は高いことから、病床数に応じた職員配置による経費に見合った診療収入が得られていない状況にあり、経営の効率化が急務の課題である。

2. 老朽化の状況について

類似病院と比較し、①有形固定資産原価償却率や②器械備品減価償却率が高く、施設、設備及び医療機器の老朽化が進んでいる。しかしながら、施設環境の向上と質の高い医療の提供を行うため、「新金沢市立病院経営計画」に基づき、計画的に施設等の更新を行っていく必要がある。

全体概括

経常収支比率が100%を超えたものの、コロナ禍での患者減少などにより、医業収支比率は大幅に減少しており、厳しい経営状況が続いている。経営の健全化を図るために、診療機能の強化、診療報酬上の加算取得の強化、経営体制の見直し等の検討を行う。また、今後も地域に根ざした「地域連携型病院」として、市立病院の役割を確実に遂行していくため、「市立病院の今後のあり方検討会」からの提言の具現化に向けた調査・検討を進め、これからの市立病院が担うべき役割を明確化した上で、より一層の経営改善に努めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。